

令和5年度
豊能地域水防災連絡協議会

各機関の令和4年度の取組について

【コミュニティタイムラインについて(野田校区)】

◆概要

- ・ 防災マップの更新&コミュニティタイムラインの作成を行うもの
- ・ 予算については都市整備推進センターの助成金制度を活用(密集市街地まちづくり活動支援制度:3年間で50万円までの補助)
- ・ 防災マップについては池田土木事務所が主導となり作成、コミュニティタイムラインについては「一般社団法人ADI災害研究所」より講師を招き作成

【スケジュール】

NO	内容	日にち
①	防災講義	済: 令和4年10月4日
②	防災マップを基にまち歩き	済: 令和4年11月26日
③	地区のリスクや対策について議論・整理・マップの完成	済: 令和5年2月8日
④	コミュニティタイムラインの作成(グループワーク)	済: 令和5年3月9日
⑤	地域で完成した防災マップの印刷・回覧・掲示を実施	令和5年度以降



【豊中市個別避難計画実施状況】

令和4年度実施内容

- 【実施内容】① モデル校区（北丘校区・野田校区の2校区）選定し、モデル対象者（4事例）の計画作成
 ② 福祉専門職（介護支援専門員等）や地域団体向けの啓発（研修会）を実施
 ③ 対象者の計画作成～避難訓練を実施

【スケジュール】

取組内容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①モデル対象・地区の選定	→			
②啓発（研修会）		→		
③モデル対象者の計画作成・避難訓練			→	



令和5年度～実施内容（予定）

- 【実施内容】① 計画作成対象者の要件確定、及び対象者の抽出（避難行動要支援者名簿から）
 ② 対象者への同意確認（作成した計画を地域に提供するための同意）
 ③ 市内7圏域における実地訓練（令和4年度の2校区から7校区に増やすことで全市展開を視野に入れる）

取組内容 コロナ禍で中止していた地域の防災訓練は、感染対策に注意しながら徐々に再開



池田市防災訓練(DWATとの連携等)



呉服校区総合防災訓練



五月丘小学校区総合防災訓練



鉢塚・緑丘地区合同防災訓練

取組内容 共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成

◆経緯

箕面市では、職員と地域で災害対応に当たる自主防災組織役員に対して、防災に対する意識や知識を向上しスキルアップを図るため、令和元年度から防災士養成講座の開催を行ってきました。

◆内容

令和4年度に実施しました防災士養成講座では、防災士資格取得者は43名であり、その内、自主防災組織役員が9名で、これをもって自主防災組織役員には、令和元年度から令和4年度にかけて、計31名の方に取得いただいたこととなります。

◆効果

防災士資格取得者には、職場や地域における平時からの知識共有や防災意識の向上に努めてもらうとともに、災害時の的確な判断と行動を期待します。

次回の防災士養成講座の開催については、令和6年度の開催予定となります。



取組内容 東能勢小学校4年生に対し防災教育を実施

- 実施日：令和4年10月14日（金）
- 午後2時から午後3時
- 参加児童数：21名
- 場所：商工会防災倉庫
- 内容：気象庁作成のチラシ「キキクル」を使い、本町における最も危険な災害「土砂災害」の発生原因と、町が発信する情報について、キーワード「警戒レベル」、特に「警戒レベル3」を覚えてもらうように繰り返し伝えた。また、町が保有する避難所で使う防災備品（テントやベッドなど）を実際に組み立てて、使用感を体験してもらった。



取組内容 種々の地域防災力の向上のための取組を実施

●避難行動要支援者名簿等の配布

災害対策基本法に基づく『避難行動要支援者名簿』を3年ぶりに更新、加えて『避難行動要支援者名簿活用の手引き』を新たに作成し、避難支援関係者(区長、民生委員、消防団、社会福祉協議会、消防署)に配布した。

●自主防災組織の強化等

自主防災組織設置促進ため、区長会等においてPRするとともに、自主防災組織が実施されている防災訓練に防災担当者が出向き、指導助言等を行った。



●一時避難所必要物品の配布

災害時、自治区の公民館等を自主避難所として開設していただくため、希望自治区に非常食(アルファ化米)、飲料水等を配布した。

取組内容 河川の防災情報を提供するHPをリニューアルし、避難や水防活動に資する情報提供を充実化

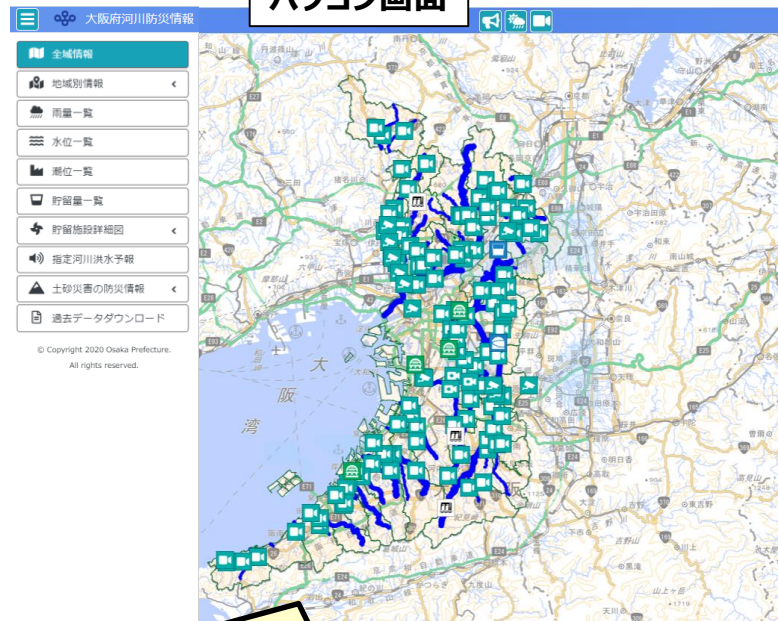
大雨の際に府民の皆さんが躊躇なく避難行動をとれるように、雨量、河川水位や河川カメラ画像などの河川防災情報を公開しています。（英語対応）

👉 <https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>



令和4年12月～ ホームページを大幅リニューアル

パソコン画面



スマホ画面



水位情報閲覧画面

観測時刻	位置	
	戎橋 基準	万植橋 基準
	m	m
堤防高	7.065	6.917
氾濫危険水位	4.20	3.45
避難判断水位	3.85	3.10
氾濫注意水位	3.75	3.00
水防団待機水位	2.50	1.50
最大値	[18:37] 4.45	[18:26] 5.25
最小値	[04:30] 1.23	[16:54] 0.20
既往最大		5.01
09/02 18:24		5.25
09/02 18:23		5.23
09/02 18:22		5.23
09/02 18:21		5.20
09/02 18:20		5.15
09/02 18:19		5.08
09/02 18:18	3.94	4.99
09/02 18:17	3.95	4.91
09/02 18:16	3.90	4.82
09/02 18:15	3.79	4.70
09/02 18:14	3.77	4.59
09/02 18:13	3.70	4.47
09/02 18:12	3.65	4.37
09/02 18:11	3.60	4.25
09/02 18:10	3.57	4.15
09/02 18:09	3.54	4.04
09/02 18:08	3.52	3.92
09/02 18:07	3.48	3.79
09/02 18:06	3.44	3.68
09/02 18:05	3.39	3.59

10分間で約1mも水位上昇

新ホームページの改良点① ～閲覧可能情報の追加～

これまで閲覧できた水位、雨量、貯留施設（ダム等）状況に加え、新たに**洪水リスク表示図、土砂災害警戒区域、土砂災害の防災情報、降水ナウキャスト、水門・鉄扉等施設の開閉状況、開設避難所情報**が同一画面上で閲覧可能に！

新ホームページの改良点② ～スマートフォンに対応～

スマホ専用画面を新たに作成
スマホの位置情報から**自分の位置、周囲の河川状況、開設された避難所の位置**が一目で分かる！

新ホームページの改良点③ ～リアルタイム化～

水位情報の提供を**10分⇒1分間隔に短縮**
リアルタイムで水位が確認できる！

大阪府域 流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～880万人の暮らしを守る「防ぐ」「逃げる」「凌ぐ」を組み合わせた流域治水の推進～

大阪府
参考資料

●グリーンインフラの取り組み

みお筋等を工夫した整備（田尻川）

水制工



かわまちづくり（箕面川）



現地埋土種子による法面緑化（安威川ダム）



水都大阪の再生
大川ふれあいの水辺



魚道整備（西除川）



ワンドの整備（近木川）



魚道整備（芥川）



親水護岸整備（寝屋川）



水環境改善のための
底泥の浚渫（寝屋川流域）



生駒山系花屏風構想



ひつじによる除草（松尾川）



かわまちづくり（櫻井川）



【全域に係る取組】

- ・アドプト・リバー・プログラムによる美化活動
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

○寝屋川流域では、下水道整備の進捗等により、昭和50年以前の劣悪な水質が改善し、平成27年以降は全ての環境基準点で環境基準を満たしています。

○淀川水系田尻川や芥川などでは、多様な生物に配慮した多自然川づくりを進めています。

○水都大阪の再生やかわまちづくり事業など、河川区間を活かした賑わいを創出していきます。

このような、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進していきます。

●自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・ダム建設に伴う現地植生回復

●治水対策における多自然川づくり

- ・上下流の連続性確保に向けた魚道の整備
- ・現地発生材を活用したみお筋の整備

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・小中学校、水辺の学校等との河川環境学習
- ・自治体・住民・企業との協力による河川美化活動
- ・寝屋川流域協議会の連携による水環境改善の取組み
- ・花木や紅葉の美しい樹木の植樹による景観資源の創出

●魅力ある水辺空間・賑わいの創出

- ・水の都を取り戻す水都大阪の再生
- ・自然環境と周辺の歴史的資源を活かしたかわまちづくり

アドプト・リバー・プログラム
による河川美化活動



水辺の学校による
河川環境学習

